



第337号 平成18年8月1日
発行所 京都市学校医会
京都市中京区間之町通竹屋町下ル
楠町601-1 こどもみらい館 2階
TEL (075) 256-0351
FAX (075) 241-3568
発行人 長村吉朗

教育委員会との懇談会

会長 長村吉朗

7月1日に恒例の京都市教育委員会との懇談会が開催されました。教育委員会よりは門川教育長、森原体育健康教育室長、富田課長、金安係長の4名、学校医会よりは私の他、奥村・平井両副会長、林専務理事、竹内常任理事、佐野眼科学校医会副会長、星谷耳鼻咽喉科医会理事の7名が出席いたしました。

まずはじめに、1年後に予定しております学校医会創立100周年記念事業に対する教育委員会の協力に感謝申し上げ協議に移りました。協議では、まずはじめに学校医会で本年度より計画している心の問題に関する相談事業の構想につき協議いたしました。この事業は学校医会の精神衛生研究班が中心となり、学校における最重要の問題の一つとなってきております心の問題を抱える児童・生徒やその保護者、教師などに対する相談室を月1回開くというもので、医学的見地から相談を行い適当な医療機関に紹介を行う構想です。京都市にはパトナ、児童相談所、児童福祉センター、京あんしんこども館などの同様の相談事業を行っている機関があり、それとの関係等を考慮しさらに協議を進めることといたしました。また各中学校に配置されていますスクールカウンセラー(SC)の存在を学校医にもっと知ってもらうために、学校保健委員会へのSCの参加や、学校医・養護教諭・SCの話し合いの場を設けることなどを提案いたしました。次に以前より1,000名を超すと複数校医とする基準がありました。近年の児童の減少と健康管理の重要性よりみてその基準を見直し、必要な学校に学校医を複数配置する協議を行うことを提案いたしました。また、最近急速に町の中で見

かけるようになりましたAEDにつき、その学校への設置につき協議いたしました。AEDは現在全京都市立高校9校と中学校11校に設置されておりますが、一律ではなく心臓検診の結果をふまえ不整脈発作が強く懸念される児童の在籍する学校への重点的配置を提案いたしました。いずれにせよ予算が必要となることでもあり早急に必要台数と配置の方法の検討を行うことといたしました。次に、近年主流となってきました創傷に対する湿潤療法の学校への導入につき提案をいたしました。これも予算を必要とするものでもあり、早急な導入は困難と思われませんが養護教諭に対する講習会の開催を計画することとし、同時に昨年より開始しました大文字駅伝等の学校医会より医師の派遣を行っている競技会での使用を継続することといたしました。また、平成5年より導入されました健康管理医制度につきその活動が低調となって来ている事に対し、学校長への健康管理医の存在の再度の周知とともに、私ども学校医側の積極的な活動につき協議いたしました。最後に本年度より開始されました麻疹・風疹混合ワクチン(MR)につき協議いたしました。これに関しましては6月号の校医ニュースに掲載いたしました。就学時検診時の予診表への記載やその接種の勧奨を依頼いたしました。市立幼稚園へのMR接種の案内は容易ですが、私立幼稚園・保育園に関しては医師会の乳幼児保健委員会を通じてMR接種の案内を行うことといたしました。これら多くのことを話し合い1時間以上の時間にわたり協議いたしました。実り多い協議となったと考えております。

右京支部会報告

支部長 酒井 晃

7月22日(土)、会員17名参加の下、区内の中華飯店「愛蓮」にて開催しました。

本年度から京都市と京北町の合併により2校(校医1名)の入会がありました当日は残念ながら顔合せができませんでした。

先ず、本年度の入会、勇退の先生方のご挨拶で始まり、それぞれに心に響くものでした。支部活動、会計報告のあと、長村吉明会長の学校医会の現況についての話があり、指定学校医制度の解説、市教委との重要課題の取り組みについて、また、学校保健会の他団体との交流状況等について判り易く話していただきました。次に、会員でもある小児科医会々長の竹内宏一先生に、感染症を中心にトピックスを交えてミニ講演をしていただきました。内容は既刊の京都医報や校医ニュースをご参照下さい。

懇親会では長村会長にテーブルを回っていただき膝を交えて質疑応答をしていただきました。会員からの主な質問として、蟻虫症の児童の治療の際の家族への対応(保険の適応の可否)や、持参する各種の文書料の取り扱い、検診時の着衣の問題、学校安全会扱いの守備範囲等熱心なやりとりがありました。最後に会長から、心臓検診における心雑音の診断基準についての注意事項の説明があり慎重な対応が望まれました。

尚、学校医会創立百周年記念事業の案内と記念誌への原稿や写真提供の依頼をして和やかなムードの内に支部会を終わりました。

ご出席の先生は指定学校医の1単位を取得されたことをお知らせして報告を終わります。



集合写真



輪の中に入り対話する会長

第20回京都市小学生水泳記録会 <於：京都アクアリーナ>

大会新記録 2種目に出る

福西小校医 奥村正治

長い梅雨があげ、夏の暑い日が、続き出した8月3日(木)に西京極の公認50mプールにて小学生の水泳記録会が、午後1時より開催された。当日の医

務という事で、参加いたしましたので、様子等報告いたします。

エントリー校は京都市内110校、エントリー数は、

1208名の小学校6年生の男女の児童です。

種目は、男子女子とも、50mクロール、50m平泳ぎ、200mクロールリレー、200m混合リレー（クロール2、平泳ぎ2の混合）の、4種目である。

プールが本格的なプールを使用する為か、参加児童の総数は年々増加している様子である。

本大会では、2種目の大会新記録が誕生した。その1つは、男子50mクロールの安井小学校の八木隼平君タイム27秒0であった、1秒1縮めた事になる。もう1つは、女子200m混合リレーで、御所南Aチームが、2分39秒9の記録を作った、4秒6縮めた事になる。

大会結果はこの様であったが、小生の必要とする医務記録は、昨年と大違いであった。昨年はめずらしく一例も救急室に入室する児童はなかったが、本年度は、更衣室ですべて足趾切傷、鼻出血、プールから出る時にプールの角で足側を打ち内出血、コースロープに手がふれ手指の切傷、プールゴール時にプール内の異物に足をあて足趾の切傷の5例が担当

となった。いずれも軽症で、競技そのものには影響は出ておりません。医務室への入室はなかったですが、観客席の3階席より、2階席に携帯電話が落ち、2階席の子供の頭部に当たった様であるが、大事にはならなかった模様であった。今までにない事故である。

参加者の増加で観客席もかなり一杯になり、又、選手達も競技までに待つ時間もけっこう増加し、予定の終了時刻をはるかにオーバーしました。次年度より、時間の延長を考慮する必要があると思われるが、ウィークデーの大会となると、出務医師はかなりむずかしくなると思われるので、大会日程の決定に関しては、十二分な連絡を取りながら決定していただきたいと思います。今までの様な、教育委員会の一方的な日取りで、校医の出席と言われても困難になって来るのではないかと心配する。夕方の診療時刻になって来たので、終了まではおれなかったが、ぎりぎりまでプールサイドにいた半日でありました。

京都市立中学校長会との懇談会

専務理事 林 鐘 声

先月号で報告のあった小学校長会との懇談に続いて、京都市教育委員会との懇談をはさんで、7月8日（土）に中学校長会との懇談会を行いました。中学校長会は稲富哲哉（岡崎中）会長を始め5人、体

分に理解を深めておられたようです。SCとの交流については、SCの勤務が非常に忙しいことから調整は困難との見通しでしたが、学校保健委員会にSCが参加できるところからでも交流をもつように進